

## 単元名 【旧】おもいでを かたち(立体)

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) うれしかったことや楽しかったことの様子が表れるように、形のつくり方を工夫することができる。
- (2) うれしかったことや楽しかった時の様子を基に、表したいことを考えることができる。
- 作品  
を色々な角度から見て、お互いの工夫したところや表したかったことを感じ取ることができる。
- (3) 生活の中でうれしかったことや楽しかったことなどを思い出し、その時の様子を楽しく立体に表そうとする。

## 標準的な展開例

02080308\_001

【準備等】粘土（1 kgくらい）、粘土板、粘土べら、雑巾、竹ぐし

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 うれしかったことや楽しかったことを思い出し、表したいことを考える。</p> <p>○教科書の参考作品を見て、どんな様子を表しているか発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しくそろばんをしているところ</li> <li>・家族でダンスをしているところ</li> <li>・ベンチに座ってポーズをとっているところ</li> </ul> <p>○友達と話し合いながら、うれしかったことや楽しかったことを思い出して話し合い、表したいことを考える。（言語活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会</li> <li>・校外学習</li> <li>・休み時間のこと</li> </ul> <p>★うれしかったことや楽しかったことを粘土で表そう</p> <p>2～4 表したいことを粘土を使って形にする。</p> <p>○粘土を丸めたり、こねたりして粘土に親しむ。</p> <p>○粘土をひねり出して、大まかな形をつくる。</p> <p>○手足の様子を工夫したり、細かい部分をつくったりして仕上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手をつないでいる様子にしよう。</li> <li>・顔は笑顔にしよう。</li> </ul> <p>○友達といろいろな向きから作品を見て、お互いの表したかったことや工夫したことについて話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書1・2下 P.28, 29</li> <li>・うれしいときや楽しい時は一人ではなく、いろんな人と関わっていることに気付かせる。</li> <li>・大きな行事だけでなく、日常にもうれしいことや楽しいことがあることに気付かせる。</li> <li>・アイデアが思い浮かばない児童には、日記を参考にさせるとよい。</li> </ul> <p>【評】話し合いの活動を通して、うれしかったことや楽しかったことを基に表したいことを考える「発想や構想の能力」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・粘土の性質をとらえさせるために、粘土に慣れさせる。</li> <li>・つまみ出し、付け足しなどの粘土の技法を指導する。</li> <li>・手足を大きくひねり出し、頭の大きさを基準にして体の形のバランスに気を付けさせる。</li> <li>・いろいろな方向から見るようにさせる。</li> <li>・自分が表したいものになるように、手足の様子や動き、顔の表情を想像させる。</li> </ul> <p>【評】作品を通して、表したい様子になるように、形のつくり方を工夫する「創造的な技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の作品のよさを味わわせる。</li> </ul>

## 【 備 考 】